

第19回 日本尊厳死協会東北支部 仙台大会 兼 第2回 日本リビング・ウイル研究会 東北地方会

日時

平成27年9月13日(日) 午後1時30分 - 4時

場所

仙台市福祉プラザ「ふれあいホール」(地下鉄「五橋」下車 徒歩3分)
仙台市青葉区五橋2-12-2 電話 022-213-6237

テーマ

「大災害死・尊厳死・臨床宗教師」

— 脚光浴びる宗教者にしか行えない終末期ケア —

東日本大震災の被災者支援をきっかけに、東北大学は「臨床宗教師」の養成を2012年度から始めました。

臨床宗教師は布教や伝道と一線を画し、さまざまな苦しみを抱えた人々に寄り添い、ケアを提供する宗教者です。名取市で在宅緩和ケアに取り組んでいた岡部健医師が欧米の「チャプレン」日本版として「臨床宗教師」を考えました。

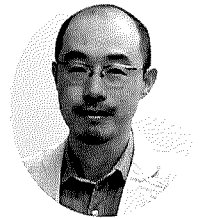
超高齢多死社会の到来が言われる中、多くの死と老いに直面する医療や福祉の現場において、宗教者にしか行えないケアの存在意義が脚光を浴び始めています。

臨床宗教師の誕生とその特徴、これからの可能性について考えます。

第1部 基調講演

「臨床宗教師 誕生から これまで」

東北大学大学院文学研究科
実践宗教学寄付講座准教授(宗教心理学) 高橋 原



第2部 討論

座長 一般財団法人 日本尊厳死協会東北支部長 橋村 襄

「宗教者の新たな役割とは」

臨床宗教師 高橋 悦堂



「被災者に寄り添い、心の悩みを聴く」

応急仮設住宅居室訪問ボランティア 日黒奈緒美



「質問にこたえて」

高橋 原

(敬称略)

会場からの発言・討議

参加費

無料

先着300人 会員・一般 どなたでもどうぞ

第17回「仙台駅横 交流サロン」

参加費なし どなたでもどうぞ

日時 7月24日(金) 午後2時~3時30分

テーマ 「終末期の痛み あれこれ」

尊厳ある生のために書いた加藤佳子医師(日本尊厳死協会東北支部理事)の本「あなたの痛みはとれる」をテキストに、「なぜ多い終末期の痛み」を話し合い。

場所 「せんだいアエル」6階 特別会議室(JR仙台駅西口、徒歩3分)

次回(第18回サロン)は10月9日。時間・場所は今回と同じ。

問い合わせ先 日本尊厳死協会東北支部 電話 022-217-0081